

## 28年空挺初降下訓練及び靖国神社本殿参拝支援



靖国神社で



未来の自衛官希望者

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1尉）は、1月10日（日）、平塚自衛隊募集相談員会が主催する「平成28年第1空挺団初降下訓練」及び「靖国神社本殿参拝」の研修を支援した。研修には募集対象者42名を含む各協働力会員及び募集対象者の家族など87名が参加した。

当初、空挺初降下訓練を研修し、春のような暖かな日差しの中、CH47J及びC1並びにC130から透き通る青空に次々に飛び出す空挺隊員に歓声をあげていた。

その後向かった靖国神社では、厳かな雰囲気の中、本殿に続く廊下を通り、心静かに神霊を偲ぶ本殿内での昇殿参拝を行い、参拝終了後は遊就館を見学し帰路についた。

今年度一般曹候補生として陸上自衛隊に入隊予定の研修者の一人は、「空挺降下を見て、自衛隊の皆さんが日々国民を守るために、厳しい訓練をして努力していることが改めて判った。自分も早く先人が築いた平和な日本を守るため、自衛官として頑張りたい」との言葉も聞かれ、同行した広報官も喜びもひとしおであった。

平塚地域事務所では、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、将来の中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、多くの研修を支援したい」としている。

## 高等工科学校生徒来所

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1尉）に、27年春に自衛隊高等工科学校に合格し入校した、秦野市立東中学校出身の加藤啓太君（1年生）が年末年始休暇を利用し制服姿で来所してくれた。

入校し既に1年をもうすぐ迎えようとしているその姿は、入校前の不安そうな顔とは打って変わって、日に焼け凛々しく自信に満ちており、所員一同、驚きと感激で入校後の話に花が咲いた。加藤生徒は「入校当初1か月は不安で眠れない日々もあったが、学校の教官・助教等に厳しくも懇切丁寧に指導していただいて、日々成長しているのが感じられる。将来、自衛官となることのできる本校を選んで本当に良かった」と力強く語ってくれた。

平塚地域事務所は「これからも自衛隊に対する正しい理解を得て、一人でも多くの若者が自衛官を志願してくれることを期待し、今後も任務に邁進したい」としている。



所長と事務所にて（右：加藤生徒）